



今回は、緩和ケア認定看護師からのお知らせです。

西村 亜希 日高 麻希

～グリーフケアとしてのエンゼルケア～

【エンゼルケアはセルフケアの代理】

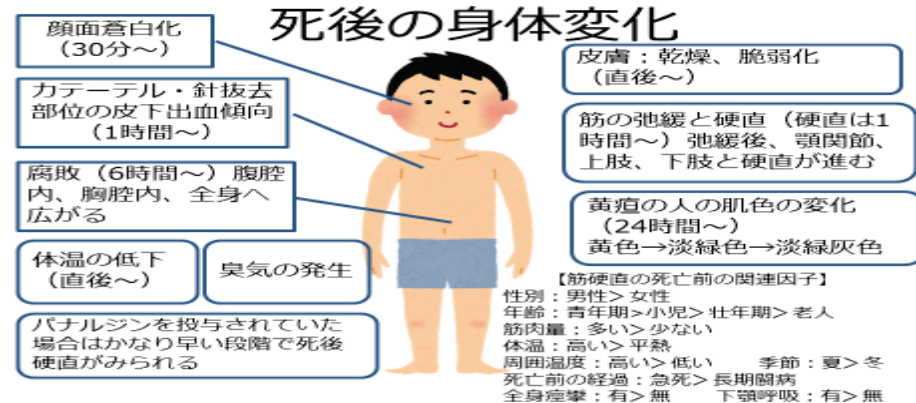
エンゼルケアは「エンゼルメイクを含む全ての死後のケア」(エンゼルケア研究会の定義より)であり、亡くなったご本人に代わり可能な範囲でケアを行うことです。

【エンゼルケアとグリーフケア】

最近では、死後の身体変化を踏まえた「適切な対応と適切な処置」を取り入れ、保清や身だしなみの整えを基本とした、ご家族の意向を重視し柔軟に添う方向が出てきました。特に顔は、周囲の人の記憶に残るため、その人らしい顔にする行為は、家族の心にもたらすものが大きいとされており、死後の身体変化を考慮したエンゼルケアを行うことは家族のグリーフケアにとって非常に重要となります。今回、よくある質問にお答えします。



Q1：ご遺体は、どのように変化していくのですか？



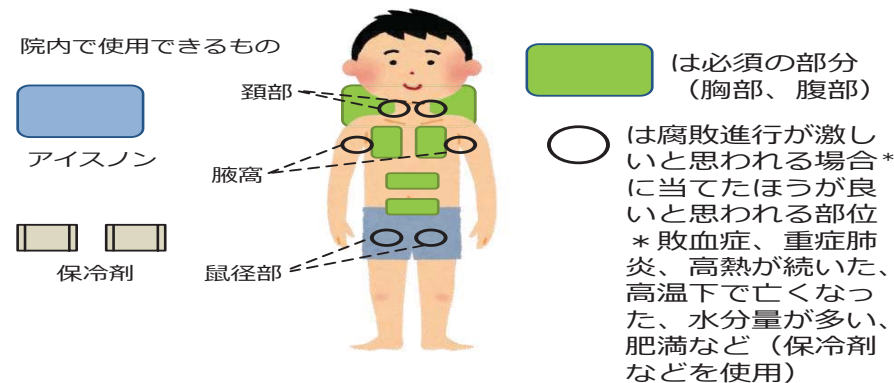
A：臨終後、ご遺体は図のような様々な変化が進みます。肌は管理方法や外部環境に大きく左右され、大変乾燥しやすい状態です。唇には適宜リップなどの油分を塗付し、肌の部分には適宜クリームなどを塗付します。また、顔に直接扇風機やエアコンの風をあてないようにします。

Q2：腐敗を遅らせるためには？

A：腐敗をもたらす細菌群は 30～40℃で急速に増殖します。細菌の活動を低下させ腐敗を抑えるために冷却は必須の対応です。腐敗が進行するとガスや水分の発生で腹部が膨満したり、鼻や口から体液がもれ出たり、顔面や身体の浮腫や、臭気が出現します。こういった現象は不可逆性であり、冷却によって最小限に抑えることができます。

腐敗進行が激しいと思われる場合（図参照）は、エンゼルケアが終わり次第できるだけ早く開始し、その他の方は、死後4時間以内、遅くとも6時間以内に冷却を開始します。葬儀社が冷却を実施するまでの数時間に、腐敗が進んでしまう可能性があるため、早めの対応が必要です。

冷却に使用するものと冷却する部位



Q3：詰め物はしなくていいのですか？

A：以前は臨終を迎えた身体には、詰め物をするのが定番でした。

しかしここ数年、基本的に詰め物を行わない方向で見直しが進んでいます。

〔詰め物を行わない理由〕

- 出血などの体液もれは、栓のように詰め物で止めることはできない
- 詰め物は、見る人に「苦しそう」などといった印象をもたらすことが多い

体液や内容物の漏出の原因は、腐敗であると言われています。詰め物自体が栓の役割をあまり果たしていないため、おむつなどをしっかり当てた方が効果的とも言われます。基本的にケアを行う際の詰め物は行わなくても大丈夫です。出血などがあり詰め物をする場合には、粘膜を傷つけないように鑷子を使用しましょう。胸腔・腹腔ドレーン抜去後の体液漏出に対しては、ガーゼやタオルを厚めにあてます。あらかじめ家族や葬儀社へ説明しておき、適宜交換するよう説明しておきましょう。



Q4：口や目が閉まらないけど、どうしたらいいですか？

A：顎バンドなどを使う方法は、ご家族はとてつらい印象を受けます。また、バンドが当たった場所の皮膚が変色したり顔面に浮腫がでたりなど、残念な結果を招くだけです。枕を高くして顎の下に丸めたタオルを挟む方法があります。枕を高くしすぎると首が屈曲するため、体液が自然に降りるのを妨げてしまいます。枕を高くする時は、「スロープ状」を意識します。口元のみ少し開いている場合は、口腔ケアをしたのち、歯の表面にくるりと入れ歯安定剤を塗布し、そこに接する口腔内にも安定剤をのばして、口元を閉じてしばし押さえる方法もあります。

また、まぶたが開いていると眼の表面が乾燥するため、湿らせたガーゼ等で眼をカバーし、クレンジングマッサージ時に目尻から目頭の方向にマッサージすると閉眼しやすくなります。

Q5：手が組めないけど、どうしたらいいですか？

A：手を組ませるのは「ならわし」で、「死」の印づけの行為のひとつです。ケアの提供者が「基本的に生きている人と区別しない」を基本方針にした場合には、行わないのが自然です。葬儀社の方は、たとえ硬直がきいていてもあとから手を組ませることができます。組まなければ縛る必要もありません。組ませる場合でも、腕バンドや包帯で手首を縛るのは控えましょう。圧迫した部位はその跡がついたままとなり、変色してしまう場合もあるため、つらい印象が残ります。手をうまく組ませることができない場合は、肘の下にタオルを入れ、少し高くすると組ませやすくなります。手は必ずしも組む必要はないので、「身体に添わせる」「お腹の上に両手をのせる」だけでも良いです。

【引用・参考文献】

看護ワンテマ BOOK 説明できるエンゼルケア 著者：小林光恵 発行者：株式会社 医学書院

ナースのための 決定版エンゼルケア 著者：小林光恵 発行者：株式会社 学研メディカル秀潤社

